

活 用 事 例	愛知県豊橋市立牛川小学校	鈴木康弘校長
活用事例タイトル	町たんけんヘレッツゴー！～牛川の町のひみつをさがそう～	
対象授業科目/活動	生活	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	【単元名】 町たんけんヘレッツゴー！～牛川の町のひみつをさがそう～ 【授業者】 綿貫節子教諭 【対象学年】 小学２年 【ICT 使用場面】 子どもたちは毎朝通学班で登校し、下校は１，２年による方面別の集団下校を行っている。２年生になり、１年生が入ってきたことで、自分たちがしっかりと手本になろうという意識をもって下校をしている子もいる。また、牛川校区は区画整理事業が進み、たびたび通学路の変更があったり、工事をしている箇所を間近で見たりしており、標識や横断歩道、道路の色など安全に関するものに関心を寄せてはいるが、数年にも及ぶ区画整理事業になることから、当たり前の存在としてとらえている子も多い。本単元を通して、町の自然や人々とかかわり、自分たちの安全を見守ってくれている人の存在に気づいたり、町のよさを感じたりしてほしい。安全に対する意識が高まり、自分の命は自分で守ろうとする態度が育つことを願っている。 本時では、まずクイズ形式で写真を提示しながら、探検をふり返る。そして子どもたちが興味をもった道路のマークや色について話し合いをする。話し合いをする中で、自分たちの安全を守るものがたくさんあることに気づかせたい。最後に、安全を見守ってくれている方からのメッセージを動画で提示する。その方たちの存在や気持ちを知ること、自分たちも安全に気をつけていこうという、次からの活動につなげていきたい。	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	【単元のねらいと目標】 - 自分たちが生活している町に関心をもち、地域の人々やさまざまな場所に親しみをもってかかわったり、友達と協力して探検をしたりしようとしている。（関心・意欲・態度） - 地域の人々やさまざまな場所に親しみをもってかかわることや、安全に生活することについて考えたり、探検で発見したことや気づいたことについて、表現したりすることができる。（思考・表現） - 町にある自然や人々などの様子や、安全に生活することの大切さに気づくとともに、牛川の町のよさに気づくことができる。（身近な環境や自分自身への気づき）	

1 単元名 町たんけんへレッツゴー！～牛川の町のひみつをさがそう～（本時21／26）

2 単元の目標

- ・自分たちが生活している町に関心を持ち、地域の人々やさまざまな場所に親しみをもってかかわったり、友達と協力して探検をしたりしようとしている。（関心・意欲・態度）
- ・地域の人々やさまざまな場所に親しみをもってかかわることや、安全に生活することについて考えたり、探検で発見したことや気づいたことについて、表現したりすることができる。（思考・表現）
- ・町にある自然や人々などの様子や、安全に生活することの大切さに気づくとともに、牛川の町のよさに気づくことができる。（身近な環境や自分自身への気づき）

3 単元の構想 26時間完了（※支援・留意点 ◆ICT活用）

牛川はどんなところ？～通学路で見つけたよ～ ①

- ・歩道橋の近くにたけのこがあったよ
- ・私も見つけたよ！
- ・すごく長い道路があるよ
- ・どこにあるのかな？探しに行きたいよ

探検にいきたいね！～計画を立てよう～ ①

- ・どのコースに行こうかな
- ・〇〇探検隊にしよう
- ・探検の約束を決めよう

町探検へレッツゴー！～牛川の町のひみつを見つけよう～ ④

- コースを歩いて見つけたひみつを、ワークシートに書いて写真に撮ったりする。

若宮・洗島方面

- ・交番にパトカーが止まっていたよ
- ・鏡がたくさんあったね

北町方面

- ・ブドウ畑があったよ
- ・何の工事をしているのかな

南町方面

- ・朝倉川があったよ
- ・公園がたくさんあったね

牛川

中・東町方面

- ・クックマートだお母さんが働いているよ
- ・歩道橋からいろんな景色が見えるね

牛川のひみつ発見！探検報告会をしよう ⑥

- 見つけたひみつをまとめ、建物・自然・安全のグループごとに発表する。

- ・1キロ公園は広いよ
- ・交番を見つけたよ
- ・いろんな場所があったね

- ・いろんな看板を見つけたよ
- ・青い道や赤い道を見てみたいね
- ・ほかのマークを探したいよ
- ・横断歩道はどれくらいあるか教えてみたいね

- ・花がいっぱいだね
- ・石巻山がきれいだよ
- ・朝倉川に行き遊びたいね

わかったことやふしぎがいっぱい 安全のひみつをもっと知りたいね

もう一度町探検へレッツゴー！～安全のひみつを見つけよう～④

- 安全に関するものを視点にして、もう一度通学路を歩く。

- ・横断歩道はたくさんあるね
- ・同じマークがいろんなところにあるね
- ・何の工事をしているのか、工事の人にインタビューしてみようよ



生活科

「朝倉川へレッツゴー！」

- 朝倉川での川遊びや生き物探しをする。

牛川の安全ひみつマップを作ろう！～こんなひみつを見つけたよ～ ⑦（本時5/7）

- 見つけた安全のひみつを発表し合い、みんなで地図をつくっていく。

- ・道の色がちがうのはどうしてかな
- ・道路にいろんなマークがあったね

- ・横断歩道のところで、旗を持って見てくれる人がいるよね
- ・ここで、いつも見守り隊の方が、安全を守ってくれているね。

- 見つけた安全のひみつについて、話し合う。（本時）

- ・道の色やマークは、危ないところがあるようにあるんだ
- ・安全に気をつけないといけないね
- ・もっといろんな人の話を聞いてみたいね

国語

「ありがとうを伝えよう」

- いつも見守ってくれている方へ、感謝の気持ちを伝える。

- 安全を守ってくれる人にインタビューしたり、話を聞いたりする。

- ・毎日立っていて大変じゃないかな
- ・いつもありがとう

町にはやさしさがいっぱい！いろんな人やものが、わたしたちを守ってくれているね

牛川の安全ひみつマップ完成！～1年生に伝えよう～ ③

- 活動のまとめとして、調べたことやわかったことを1年生に教える。

- ・どうやって1年生に教えてあげようかな
- ・安全クイズや、ひみつマップパズルが楽しそう

大切な牛川の町・大切なわたしたちの命
これからも安全に気をつけて生活していこう！

学活
「1年生に伝えよう」

◆自分でみつけた通学路のひみつをわかりやすく説明できるように、OHCを使って発表させる。

【表現・説明】

※探検での気づきを次の活動につなげることができるように、子どもたちのつぶやきに耳を傾ける。

◆見つけたひみつを効率よく記録に残すことができるように、タブレット端末を使って写真や動画を撮らせる。

【表現・説明】

◆探検での気づきを思い出したり、全員で共有したりできるように、パワーポイントやOHCを使って写真を提示させる。【情報共有】

※牛川の町についてもっと知りたいという気持ちにさせるため、探検での気づきを話し合う時間を設ける。

※安全に関する興味を更に高めたり、新たな気づきが生まれたりするように、交通指導員の方をお招きして、子どもたちの話し合いの様子を見てもらったり、安全の話をしてもらったりする。

※安全に対する意識を持続して活動することができるように、夏休み中、親子で通学路を歩き、安全のひみつを探してもらおう。

◆自分の考えをわかりやすく伝えることができるように、言葉だけでは足りない部分を、OHCを使って発表させる。【表現・説明】

※子どもたちの安全に対する気づきを更に深めることができるように、子どもたちの安全を見守ってくれている方をゲストティーチャーとして招き、かかわる時間を設ける。

※これまでの活動をふり振り返り、やってきたことに達成感を感じたり、自分の成長を感じたりできるように、単元のまとめとして、1年生に教えるという活動を設定する。

※これからも安全に気をつけて生活しようという意識を強くもつことができるように、「安全歩行免許証」を渡し、これまでの活動を認める。

4 本時の授業について

子どもたちは毎朝通学班で登校し、下校は1, 2年による方面別の集団下校を行っている。2年生になり、1年生が入ってきたことで、自分たちがしっかりと手本になろうという意識をもって下校をしている子もいる。また、牛川校区は区画整理事業が進み、たびたび通学路の変更があったり、工事をしている箇所を間近で見たりしており、標識や横断歩道、道路の色など安全に関するものに関心を寄せてはいるが、数年にも及ぶ区画整理事業になることから、当たり前存在としてとらえている子も多い。本単元を通して、町の自然や人々とかかわり、自分たちの安全を見守ってくれている人の存在に気づいたり、町のよさを感じたりしてほしい。安全に対する意識が高まり、自分の命は自分で守ろうとする態度が育つことを願っている。

本時では、まずクイズ形式で写真を提示しながら、探検をふり返る。そして子どもたちが興味をもった道路のマークや色について話し合いをする。話し合いをする中で、自分たちの安全を守るものがたくさんあることに気づかせたい。最後に、安全を見守ってくれている方からのメッセージを動画で提示する。その方たちの存在や気持ちをすることで、自分たちも安全に気をつけていこうという、次からの活動につなげていきたい。

(1) 目 標

- 安全のひみつについて、考えたことを話し合ったり、地域の方からのメッセージを聞いたりすることで、自分たちの生活は、町や地域の人に見守られているということに気づくことができる。

(2) 準 備 PC, OHC, ワークシート

(3) 展 開

時間	学習活動	※支援・留意点	◆ICT活用	☆評価（方法）
	1 町探検をふり返る。 町探検クイズにチャレンジ！～何がかくれているかな？～ ・横断歩道だ 交通指導員の原田さんが立っているところだよ ・「止まれ」ってかいてあるんじゃないかな ・道路が赤くなっているところだ 歩道橋の上からよく見えだね ・青い道路だね 北町で見つけたよ		◆探検時の気づきをみんなで楽しみながら共有できるように、子どもたちが撮った5枚の写真の一部を隠し、クイズ形式で写真を提示する。【興味関心】 ※探検して見つけたひみつや、考えたことなどをいつでも思い出すことができるように、前時までの内容をまとめた「牛川の安全ひみつマップ」を掲示しておく。	
7	2 通学路の安全のひみつについて話し合う。 道路のひみつは何のためにあるのだろう <横断歩道>  <止まれ>  <色がついた道路> (黄)  (青)  (赤)  ・人がわたるところだよ ・車もたくさん通るよ ・「止まれ」のマークもついてたよ ・いつも原田さんが立っているところだよ ・車が止まるようにかな ・人も車もよく通るみたい ・止まれの看板もあったよ ・止まらないと危ないね ・黄色や赤はとても目だつね ・車がたくさん通っていたよ ・車が速く走っていた ・危険な場所なのかな ・車と人と分けているのかな ・はみ出さないで歩くためかな ・車が入ってこないようにだと思ふな ・いつも青いところを歩いているよ ・危険な場所がわかるようにあるんだ ・ぼくたちの安全のためなんだね ・旗当番の方も立ってくれているね	※自分の考えが自信をもって発言できるように、ペアで話し合う時間を設ける。 ◆自分の考えをわかりやすく伝えることができるように、OHCを使って写真を提示させる。【表現・説明】 ☆安全のひみつについて、友達の意見を聞いたり、自分なりに考えたりすることができたか。（発言・活動の様子） ◆自分たちが守られていることに気づくことができるように、危険な場所の車の音や曲がり角の様子など、交通量や状況がわかる動画を撮っておき、必要に応じて提示する。【教師説明】 ※安全を守る人に目を向けることができるように、交通指導員の方などに気がついた子の意見を取り上げる。		
3 2	3 交通指導員の原田さんのメッセージを聞く。 みんなの安全を守ってくれる方から、メッセージが届いたよ ・わたしたちのことを守ってくれているんだね ・ぼくたちのことをいつも見てくれていてうれしいな ・私たちのことを大切にしてくれていることがわかったよ ・もっと安全に気をつけないといけないね ・もっと話を聞いてみたいね		※子どもたちの安全に対する考えを更に深めることができるように、原田さんのメッセージを聞かせる。 ◆子どもの思考の流れを助けるのに必要な部分を効率よく提示できるように、あらかじめインタビューを録画し、必要な部分を提示する。【情報共有】	
4 0	4 今日の授業のふり返りをする。 今日の授業で思ったことを書こう ・道路のひみつは、わたしたちの安全を守るためだったよ ・これからは安全に気をつけて歩きたいな		☆自分たちの安全を守るものや、見守ってくれる人の存在や気持ちに気づくことができたか。（発言・ワークシート）	